



かんたん操作ガイド

リンナイ製リモコン編

ご使用前に取扱説明書の「安全のために必ず守ってください」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

詳しい内容については、取扱説明書をご確認ください。

各部の名称とはたらき

1 発電について

- 1 発電をする
- 2 発電を停止する

2 停電時自立発電について

- 1 停電時に電気を使う
- 2 発電電力を上げる
- 3 自動で停電に備える
- 4 手動で停電に備える
- 5 発電停止予定を変更する

3 無線 LAN 機能について

- 1 無線 LAN ルーターに接続する
- 2 停電時自立発電継続サポートを有効にする
- 3 スマートスピーカーに接続する

4 太陽光優先仕様について

5 給湯について

- 1 お湯を使う・給湯温度を調節する
- 2 優先スイッチの使いかた
- 3 お風呂を沸かす・温度と湯量を調節する



燃料電池ユニット	熱源機	リモコン	
		台所リモコン	浴室リモコン
型式 FCCS07C3NJ FCCS07C3PJ FCCS07C3NV FCCS07C3PV	リンナイ製 熱源機	MC-333VC(B)	BC-333VC(A)



台所リモコン



浴室リモコン



燃料電池ユニット

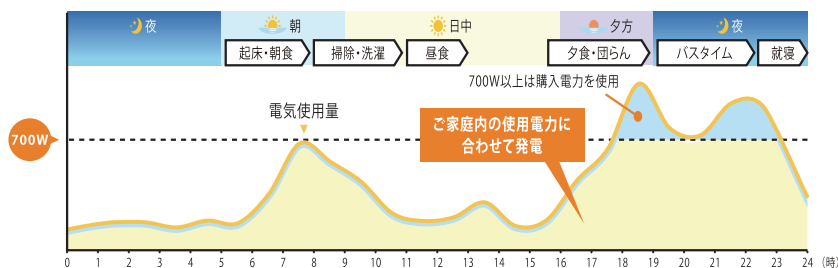
熱源機

知っておきたいエネファーム type S の特性 (参考)

- 本商品は、ご家庭の電気使用量に合わせて 24 時間連続で発電し、発電時の熱はタンクにお湯として貯めます※1。
- タンクに貯めたお湯は、燃料電池ユニットのなかで水と混ぜ、約 20 ~ 30℃ 程度のぬるま湯の形で熱源機に給水します。
- 給湯設定温度に対する湯温の不足については、熱源機の燃焼により補います。

※1 タンクがお湯で満タンになると、ラジエータで放熱しながら発電を継続します。

■ 1 日の運転イメージ例 (実際の運転はご家庭ごとに異なります)



■ 発電サイクルについて

26日間連続して発電する毎に、ガスマイコンメーターの保安機能を正常に動作させるために、24時間以上発電を停止します。



各部の名称とはたらき

台所リモコン画面（トップ画面）※トップ画面の内容は設定や機器の接続状況により異なります。

表示部

スイッチ
給湯温度を変更するときや設定を変更するときに使います。

スピーカー

MENUスイッチ
MENUから各種設定を行うときに使います。

ファンクション表示

表示	状態
自動	自動でお風呂にお湯を入れる(湯はりする)
おいだき	お風呂をおいだきする
CALL	浴室リモコンと通話する
床暖房など	各種暖房をする
ツナガルスイッチ	設定されたサービスを呼び出す
お知らせ	アプリから送信されたメッセージを確認する

ファンクションスイッチ
ファンクション表示部に表示される各機能を選択するときに使います。

OKスイッチ
設定を確定して終了するときに使います。

(ON/OFF)スイッチ
お湯を出したり、お風呂に湯はりするときに使います。押すたびに「ON/OFF」に切り替わります。(燃料電池ユニットの運転操作はできません)

台所リモコン表示部

発電状態表示(下記表参照)

アイコン表示(主なもの)

アイコン	名称	内容
	燃焼表示	熱源機が燃焼しているときにオレンジ表示します 燃焼していないときはグレー表示します
	Ecoガイド表示	Eco ガイドの目標値を 4 色のカラーで表示します
	Ecoシグナル表示	設定したお湯の量(Eco シグナル湯量)以下でお湯を使用しているときに表示します
	Ecoモード設定表示	Eco モードが設定されているときに表示します
	お知らせ表示	未読のお知らせを表示します
	マイコンメーター 確認マーク	発電中 1日に数回約6分間、 発電能力を制限しています のみ ガスマイコンメーターの保安機能を 正常に動作させるため、発電を停止しています
	無線 LAN マーク 表示	無線 LAN ルータ、サーバに接続しています
		無線 LAN ルータが圏外になっているか、 無線 LAN ルータとの接続が切断されています
		無線 LAN ルータとは接続していますが、 サーバと通信できていません
(非表示)		無線 LAN ルータとの接続設定がされていないか、 無線 LAN 機能が OFF に設定されています

時刻 / 故障表示※

※故障表示は不具合が発生した時のみ表示します。
(エラーが表示されている場合には時刻表示に代わりエラー表示を行います。)

不具合	表示
燃料電池ユニット	発電エラー と5桁の英数字
熱源機	給湯エラー と3桁の数字

発電状態表示の見方 (主なもの)

表示	状態
↑ 発電中	発電しています
↑(点滅) 起動中	起動中(発電準備中)
↑(交互表示) 停止中	発電停止の動作中です
非表示	燃料電池ユニットは発電を停止しています
発電禁止	発電を強制的に禁止しています
↓	(電気使用量が少ない状態が続いたため)燃料電池ユニットは発電を停止しています
発電 ×	燃料電池ユニットが使用できない場合に表示します
出力抑制	燃料電池ユニットの出力を抑えています
自立 ↔ 自立 (交互表示)	停電時自立発電しています
自立・高 ↔ 自立・高 (交互表示)	高出力モードで停電時自立発電しています

1 発電について

1 発電をする

リモコン画面に「発電中」と表示されていない場合、燃料電池ユニットは発電を行っていません。

リモコン画面表示に合わせて、発電開始操作を行います。

※リモコン画面「発電状態表示」に「発電 ×」と表示されている場合は、販売店、メンテナンス店またはガス事業者にご連絡ください。

リモコン画面に 発電禁止 と表示されている場合



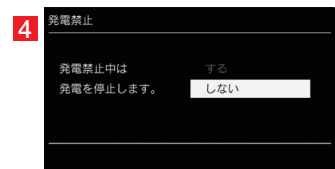
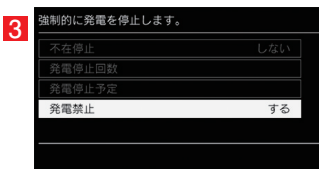
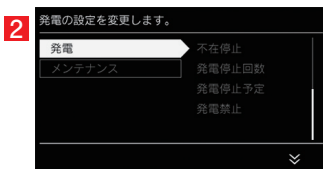
「発電禁止」操作により発電停止しています。

- 1 MENUスイッチを押します。
- 2 で「発電」を選択し、 または OK を押します。
- 3 で「発電禁止」を選択し、 または OK を押します。
- 4 で「しない」を選択し、OK を押すと、

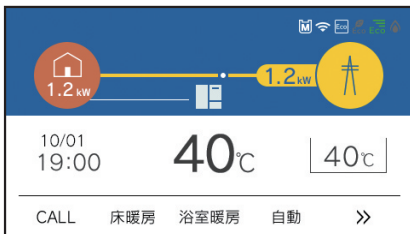
燃料電池ユニットが起動を始めます。

※発電禁止の解除操作は、台所リモコンでのみ可能です。

※操作後、発電を開始するまでに4～5時間かかります。



リモコン画面に M が表示されている場合



ガスマイコンメーターの保安機能を正常に作動させるためにお昼頃より発電を停止しています。

この表示が出たら、午後4時から翌日午後1時までの間にガス機器(給湯、床暖房など)を連続で70分以上ご使用停止してください。

停止が確認された場合※、お昼頃より自動的に起動(発電準備)を開始します。

※24時間経過してもガス機器のご使用が続いた場合、Mに加えてリモコンに「発電エラー01900」を表示し、発電停止を継続します。この場合、再び発電ができる状態に戻すためには、ガス機器のご使用を70分以上お控えいただく(時間帯に制約はありません)必要があります。バー表示がすべて になった時、01900は終了します。



リモコン画面に ↓ が表示されている場合



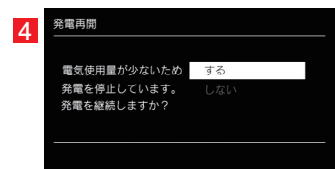
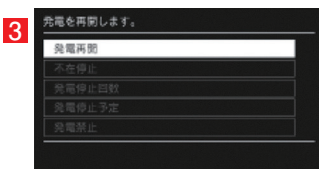
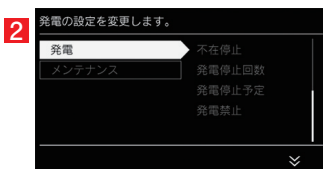
電気使用量が少ない状態が続いたため、1か月間発電を停止しています。

- 1 MENUスイッチを押します。
- 2 で「発電」を選択し、 または OK を押します。
- 3 で「発電再開」を選択し、 または OK を押します。
- 4 で「する」を選択し、OK を押すと、

燃料電池ユニットが起動を始めます。

※発電禁止の解除操作は、台所リモコンでのみ可能です。

※操作後、発電を開始するまでに4～5時間かかります。





1 発電について

リモコン画面が消え、が「OFF」(ランプ消灯)の状態の場合



「不在停止※」により、発電を停止しています。

- 1 リモコンの  を押して「ON」にしてください。
発電の開始方法が別途あります。
詳しくはリモコンの取扱説明書(P98)をご確認ください。
- 2 リモコン画面が表示され、燃料電池ユニットが起動(発電準備)を開始します。
リモコンの  を「ON」にしても起動が開始されない場合は、他の発電停止要因が考えられます。

※〈不在停止とは〉10日以上リモコン操作・お湯・熱源機による暖房を使用しない状態が続くと、自動的に発電を停止します。リモコン操作による「不在停止」設定も可能です。詳しくはリモコンの取扱説明書(P98)をご確認ください。

※操作後、発電を開始するまでに4～5時間かかります。

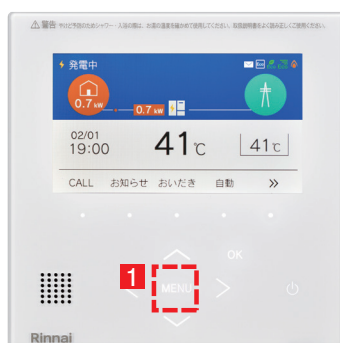
2 発電を停止する

機器の耐久性維持のため、発電停止のご使用は10回/年までを目安とし、10日以上不在にされる場合にご使用ください。











10日以上外出するなど、しばらく発電を停止したい場合

「不在停止」設定を行ってください。詳しくはリモコンの取扱説明書(P98)をご確認ください。

強制的に発電を停止したい場合

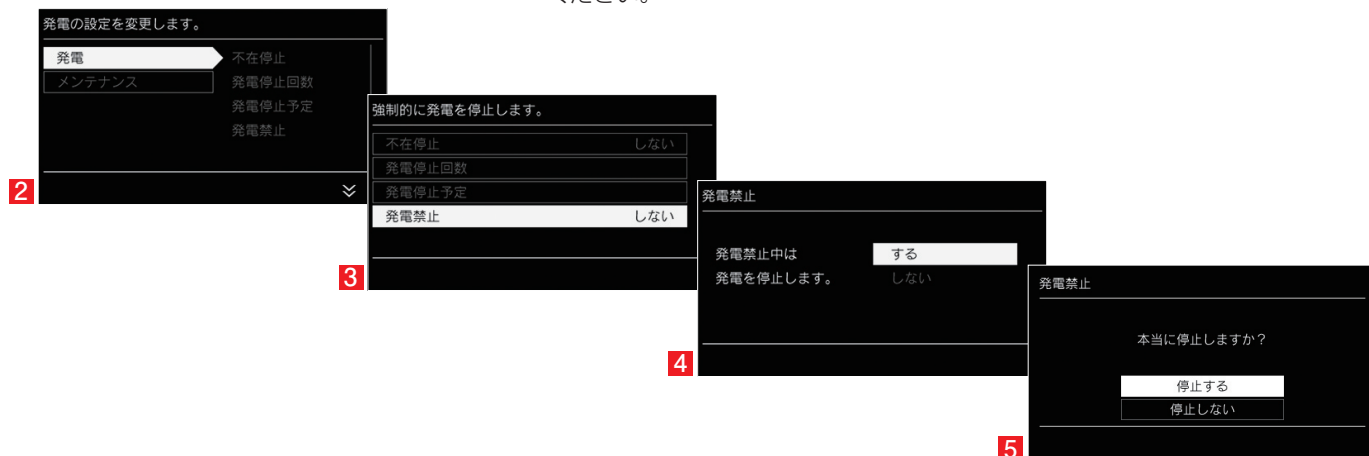


強制的に発電を停止するときに使用します。

- 1 **MENU** スイッチを押します。
- 2   で「発電」を選択し、 または **OK** を押します。
- 3   で「発電禁止」を選択し、 または **OK** を押します。
- 4   で「する」を選択し、**OK** を押します。
- 5   で「停止する」を選択し、**OK** を押します。

※発電が停止するまでに3～5時間かかります。

※「発電状態表示」が「発電中」から「発電禁止」という表示になったことを確認してください。



2 停電時自立発電について

停電時のご利用方法は動画でも確認いただけます。
<https://www.aisin.com/jp/product/energy/cogene/enefarm/download>



1 停電時に電気を使う

エネファームtypeS の発電中に停電が発生すると、**最大約 700w** の電気が使用可能です。
停電時専用コンセントに発電電力を供給します。*停電時にエネファームが発電するには、燃料ガスが供給状態にある必要があります。

停電時に電気を使うには



- 1 停電してから約90秒後にリモコン画面が表示します。トップ画面で「自立」の交互表示を確認してください。
- 2 リモコン画面表示後、電化製品の電源プラグを停電時専用コンセントに差し込んで、電化製品をご使用ください。
- 3 リモコンに表示される使用電力(消費電力)が発電電力を超えないよう、こまめに確認してください。

停電時に電気が使えなくなった時には

使用電力が発電電力を上回る場合(過負荷)は、停電時専用コンセントからの電気の供給が停止します。右の操作をすることで供給を再開します。



- 1 接続していた電化製品を停電時専用コンセントから取り外してください。
- 2 リモコン画面に「使用する電気を減らし、ON/OFFスイッチをONにしてください。」と表示します。
- 3 リモコン画面表示後、を「ON」(ランプ点灯)にして「自立」が交互表示するまでお待ちください。
- 4 電化製品の電源プラグを停電時専用コンセントに差し込んで、電化製品をご使用ください。リモコンに表示される使用電力(消費電力)が発電電力を超えないよう、こまめに確認してください。

2 発電電力を上げる

発電電力が下がっていたら(電力を上げたい)



使用電力が少ない状態がしばらく続くと発電電力を下げる場合があります。使用電力の大きい電化製品を使用される時は、以下の手順により発電出力を最大約700Wまで上げることができます。

(機器の状態により出力をあげられない場合は操作できません)

- 1 「出力切替」が表示されていることを確認し、を押します。
- 2 で「高出力」を選択し、を押します。
- 3 発電状態表示が「自立・高」に変わります。発電電力が上がったことを確認して、電化製品を停電時専用コンセントに接続してください。

3 自動で停電に備える

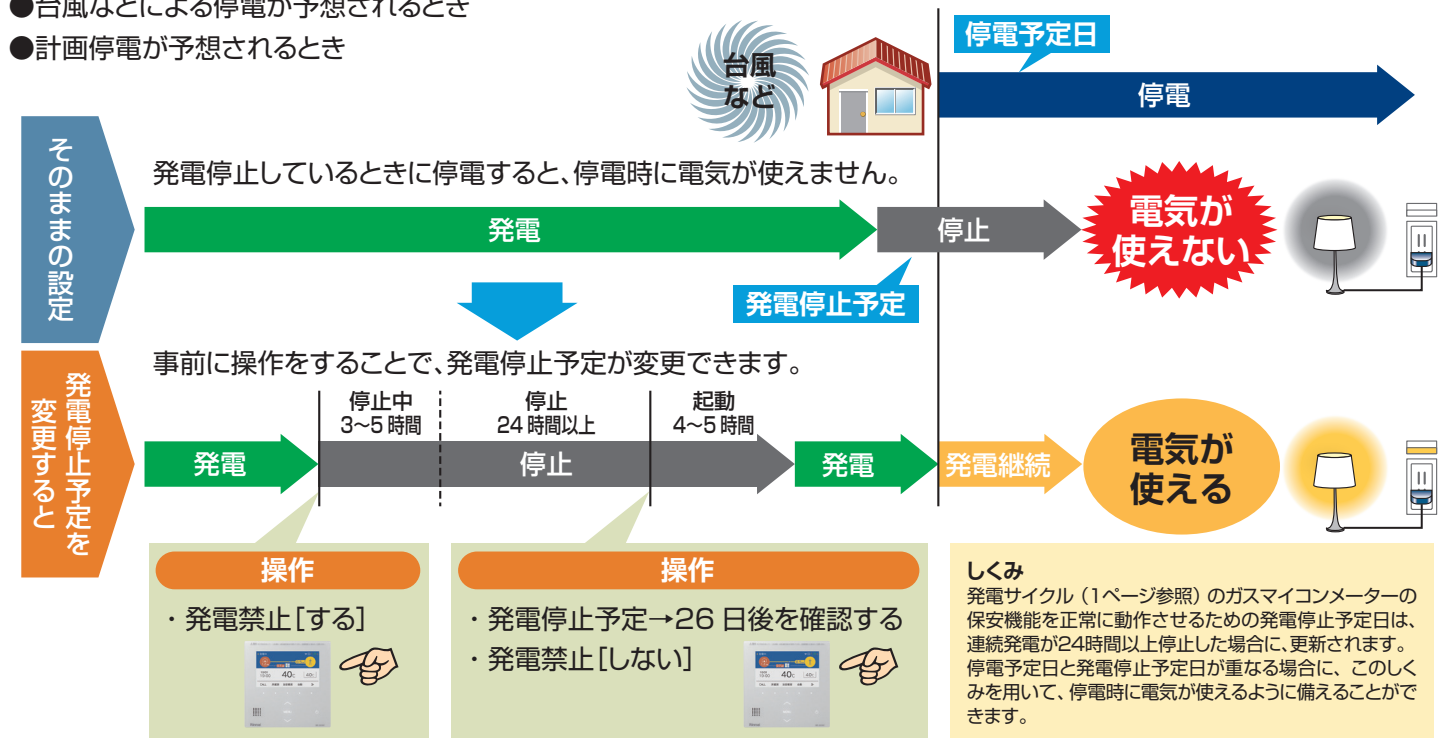
停電時自立発電継続サポートを有効化することで台風による停電が予測される場合に自動で発電停止予定を調整し、自立発電をサポートします。発電停止予定を調整するためには、燃料ガスと系統電力が供給されていること、およびリモコンと無線 LAN ルーターが接続されていることが必要となります。自動で停電に備える方法は本ガイドの10ページを参照してください。インターネット接続とエネファームアプリIIのインストール、停電時自立発電継続サポートへの申込が必要です。

4 手動で停電に備える

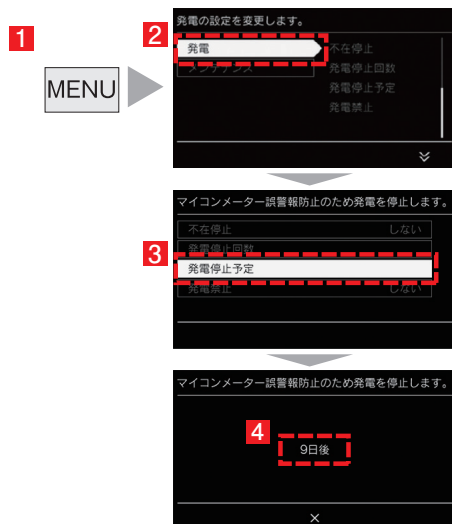
手動で停電に備える場合は停電予定日の2日以上前に以下の確認・作業を行ってください。

次のようなときは発電停止予定を確認し、必要に応じて次のページの「発電停止予定を変更する」を行ってください。

- 台風などによる停電が予想される時
- 計画停電が予想される時



次の発電停止予定を確認するには



- 1 MENUスイッチを押します。
- 2 で「発電」を選択し、 または OK を押します。
- 3 で「発電停止予定」を選択し、 または OK を押します。
- 4 表示した日とその後の日が、停電予定日と重なっているかどうか確認します。

例) 発電停止予定が「7日後」となっていた場合、7日後、8日後が停電予定日と重なっているかを確認します。

- ・停電予定日と重なっている場合⇒次のページの操作を行ってください。
- ・停電予定日と重なっていない場合⇒このままで OK です。

5 発電停止予定を変更する

発電を停止させて発電停止予定を変更するには

1 発電禁止操作を行い、発電を停止します。 ※操作後、発電停止までに 3~5 時間かかります。

1 MENU

2 発電の設定を変更します。
発電

3 強制的に発電を停止します。
発電禁止

4 発電禁止中は
発電を停止します。

5 本当に停止しますか？

- 1 MENUスイッチを押します。
- 2 で「発電」を選択し、 または を押します。
- 3 で「発電禁止」を選択し、 または を押します。
- 4 で「する」を選択し、 を押します。
- 5 で「停止する」を選択し、 を押します。

※「発電状態表示」が「発電中」から「発電禁止」という表示になったことを確認してください。

2 発電停止後 24 時間以上経過した後、「発電停止予定」が「26 日後」になっていることを確認します。

1 MENU

2 発電の設定を変更します。
発電

3 マイコンメーター誤警報防止のため発電を停止します。
発電停止予定

4 26日後

- 1 MENUスイッチを押します。
- 2 で「発電」を選択し、 または を押します。
- 3 で「発電停止予定」を選択し、 または を押します。
- 4 発電停止予定日を表示します。

※「26 日後」になっていない場合は、しばらく待ってから再度確認してください。

3 発電を再開します。

1 MENU

2 発電の設定を変更します。
発電

3 強制的に発電を停止します。
発電禁止

4 発電禁止中は
発電を停止します。

- 1 MENUスイッチを押します。
- 2 で「発電」を選択し、 または を押します。
- 3 で「発電禁止」を選択し、 または を押します。
- 4 で「しない」を選択し、 を押すと、
燃料電池ユニットが起動を始めます。

※操作後、発電を再開するまでに 4~5 時間かかります。

3 無線 LAN 機能について

インターネットに接続してできること

遠隔操作

外出先からスマートフォンでお湯はりや床暖房の ON/OFF 操作ができます。

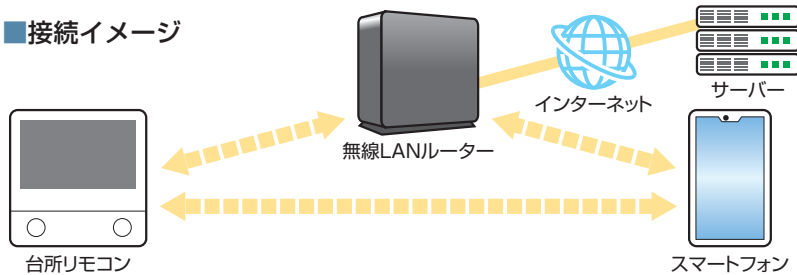
エネルギーの見える化

電気使用量や発電量などエネルギーの状況が外出先でも一目でわかります。

停電時自立発電継続サポート

台風による停電時の備えが自動でできます。

■接続イメージ



エネファーム用アプリは App Store または Google Play から”エネファームアプリⅡ”をダウンロードしてください。



※App Store は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. のサービスマークです。
 ※Google Play および Google Play ロゴは Google LLC の商標です。

無線 LAN 通信についての注意

- ※サービスのご利用には常時接続のインターネット環境と無線 LAN 環境が必要です。(モバイルルーターやテザリング等ではご利用いただけません)
- ※インターネット環境・無線 LAN 環境・スマートフォンはお客さまでご準備ください。
- ※通信規格：IEEE802.11b/g/n、使用周波数：2.4GHz、暗号化方式：WPA2/WPA、DHCP サーバー搭載の無線 LAN ルーターに接続してください。
- ※ご使用のルーター、スマートフォン、通信環境によっては本サービスをご利用できない場合があります。
- ※インターネット、スマートフォンのご利用に関わる料金はお客さまのご負担となります。
- ※自動接続設定用のプッシュボタンがあることをご確認ください。プッシュボタンがない、もしくはわからない場合の接続方法についてはリモコンの取扱説明書(P107)をご覧ください。

ダウンロードページとアプリの詳細についてはこちら

<https://iot-gas.jp/manual/enefarmapp20/r22/>



1 無線 LAN ルーターに接続する

以下の①、②の順に接続を行ってください。

①台所リモコンと無線 LAN ルーターを接続する（簡単接続）



- 1 MENUスイッチを押します。
- 2 で「リモコン設定」を選択し、 または を押します。
- 3 で「無線 LAN 設定」を選択し、 または を押します。
- 4 で「ルーター接続」を選択し、 または を押します。
- 5 「同意する」を選択し を押します。
- 6 「自動接続」を選択し、 または を押します。

90秒以内に、無線 LAN ルーターの自動接続設定用のプッシュボタンを長押ししてください。

※自動設定の開始(例)



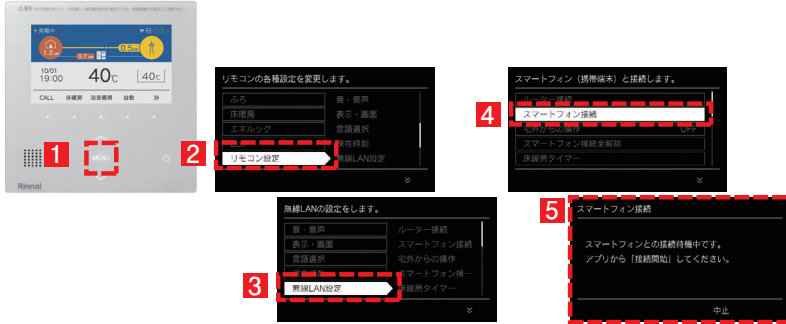
《接続完了後の画面》

台所リモコンに左の画面が表示されれば完了です。

②台所リモコンとスマートフォンを接続する

スマートフォンを台所リモコンと同じルーター・SSID に接続してください。

台所リモコンの操作

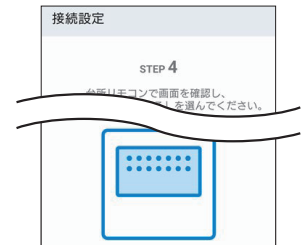
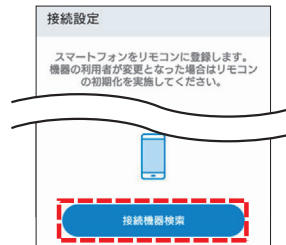


- 1 MENUスイッチを押します。
- 2 で「リモコン設定」を選択し、
 または OK を押します。
- 3 で「無線 LAN 設定」を選択し、
 または OK を押します。
- 4 で「スマートフォン接続」を選択し、
 または OK を押します。
- 5 表示内容が確認できれば
スマートフォンを操作します。

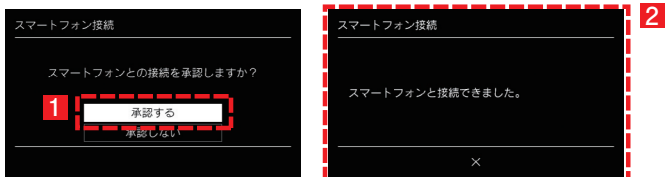
スマートフォンの操作

3分以内に、スマートフォンの“エネファームアプリⅡ”を立ち上げ、アプリの説明に従って操作します。
※初回接続時は 2 から表示されます。その後、利用規約が表示されます。

- 1 メニューバーから「設定 」→「リモコン」→「リモコンとの接続」をタップします。
- 2 STEP3 まで操作し、「接続機器探索」をタップします。
- 3 STEP4 の画面が確認できれば台所リモコンを操作します。



台所リモコンの操作



- 1 で「承認する」を選択し、OK を押します。
- 2 接続完了を確認後、スマートフォンを操作します。
「スマートフォン (携帯端末) との接続に失敗しました」のメッセージを表示したときはリモコンの取扱説明書 (P110) をご確認ください。

スマートフォンの操作



- 1 接続完了の画面を確認後、「次へ」をタップします。
- 2 表示名を入力します。
- 3 「登録する」をタップします。
- 4 「スタート」をタップします。
無線 LAN ルーターに接続する操作は以上です。

2 停電時自立発電継続サポートを有効にする

台風による停電が予測される場合に、自動で発電停止日(発電停止予定)を調整し、自立発電をサポートするサービスです。気象予測データを活用して、台風接近と被災の大きさから停電を予測します。

“エネファームアプリ”から停電時自立発電継続サポートを申し込む(有効にする)ことができます。ホームページ iot-gas.jp/manual/enefarmapp20/about/resilience.html からご利用方法を参照できます。



サービス有効化手順

1 “エネファームアプリ”を

初めてご利用の方は

アプリ起動時に表示される

本ポップアップから

設定することができます。

ポップアップ画面が出ない場合は、

メニューバーから「設定」

→「停電時自立発電継続サポート」

をタップします。

2 画面表示内容を確認し、

「自立発電継続サポート設定に進む」

をタップします。

3 確認事項にチェックを入れ

「上記に同意して次へ」を

タップします。

4 エネファームの設置場所の

郵便番号を入力し、

「確認」ボタンをタップします。

5 表示された住所を確認し

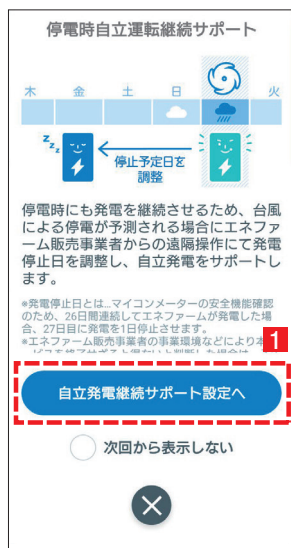
「自立発電継続サポートを

有効化」ボタンを

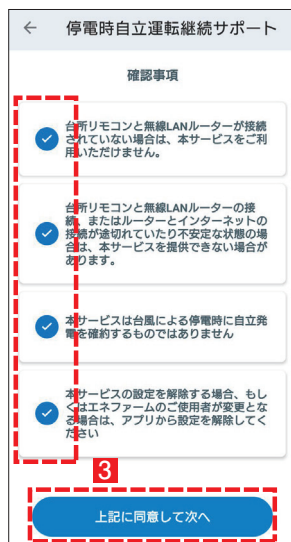
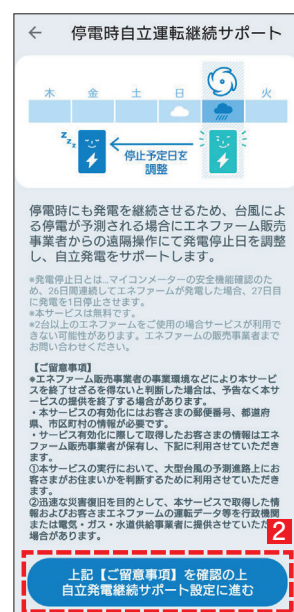
タップします。

6 「完了」をタップします。

《ポップアップ画面から申し込む場合》



《設定画面から申し込む場合》



※本サービスは無料ですがスマートフォンの通信費はお客様のご負担となります。

※発電停止日を調整するためには、燃料ガスと系統電力が供給されていることが必要です。

※停電時にエネファームが発電するには、燃料ガスが供給状態であることが必要です。

※本サービスは台風による停電時に発電継続を確約するものではありません。

※エネファーム販売事業者の事業環境などにより本サービスを終了せざるを得ないと判断した場合は、予告なく本サービスの提供を終了する場合があります。

※2台以上のエネファームをご使用の場合サービスが利用できない可能性があります。エネファームの販売事業者までお問い合わせください。

3 スマートスピーカーに接続する

Amazon Alexa 搭載デバイスをお持ちのお客様は、
話しかけることでお湯はりとお風呂の ON/OFF 操作ができます。

手順1

エネファームアプリⅡで
認証コードを発行
します。

手順2

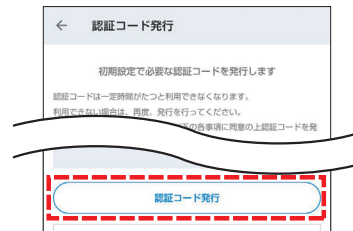
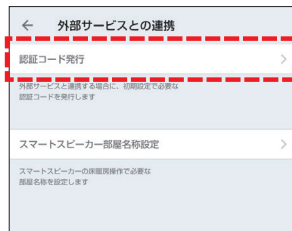
Amazon Alexa アプリで
「給湯リモコン」スキルを有効にし、
認証コードを入力します。

手順3

発話例を参考に
スマートスピーカーに話し
かけて音声操作開始します。

手順1 認証コード発行

「エネファームアプリⅡ」で
「設定」→
「外部サービスとの連携」→
「認証コード発行」を
タップします。

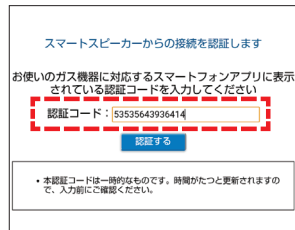


認証コードを発行すると、
認証コードが自動で
コピーされます。

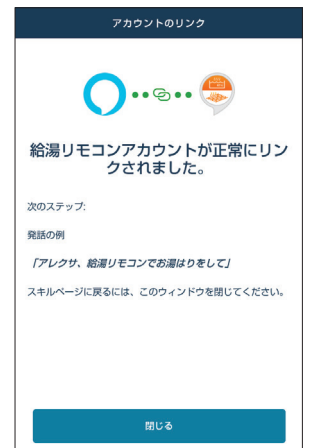
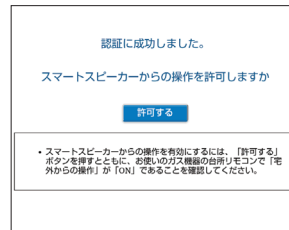
手順2 スマートスピーカーアプリの操作

Amazon Alexa アプリ

Amazon Alexa アプリの「スキル」セクションから
「給湯リモコン」を検索し、選んで有効にします。



コピーした認証コードを
入力します。



手順3 話しかける

《発話例》



給湯リモコンで
お湯はりをして。

お湯はりします。
湯船の栓を確認してください。



※床暖房の操作をする場合は設定した部屋名称で呼びかけてください。
部屋名称設定方法は以下を確認してください。

詳しい接続方法は
[iot-gas.jp/manual/
enefarmapp20/smartspeaker/](http://iot-gas.jp/manual/enefarmapp20/smartspeaker/)



- ※台所リモコンで「宅外からの操作」を ON に設定してください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。
- ※「Amazon」、「Echo」、「Alexa」は、Amazon.com, Inc. または、その関連会社の商標または登録商標です。
- ※本ガイドに使用している画面の、仕様およびデザインは変更になる場合があります。
- ※各種サービスは予告なく変更または終了する場合があります。

4 太陽光優先仕様について

太陽光優先モードを設定する

太陽光による発電を優先して、ご家庭内で消費したい場合に設定を行います。

※太陽光優先仕様のみ設定可能です。

本機能は、以下の条件をすべて満たす場合のみ設定可能です

- 太陽光発電を利用していること
- 発電ユニットが停電時自立発電モデル太陽光優先仕様であること
- 電力測定ユニットが設置されていること
- 逆潮流なし設定であること※¹
- ハイブリッドパワコン(太陽光と蓄電池)を設置していないこと
- 電力測定ユニットで太陽光発電量を正しく計測出来ていること※²

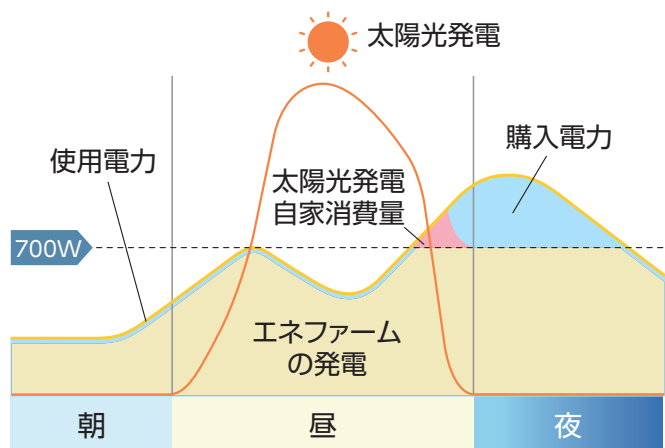
※¹ 逆潮流なしへの変更は施工業者が設定します。お客さまご自身では変更できませんので、変更をご希望される場合は、最寄りのガス事業者までご相談ください。

※² 正しく計測出来ていない場合は、リモコントップ画面に『07900』が表示されます。表示された場合は、電力測定ユニット側の故障の可能性があり。販売店または最寄りのガス事業者にご相談ください。

太陽光優先モード設定時のイメージ

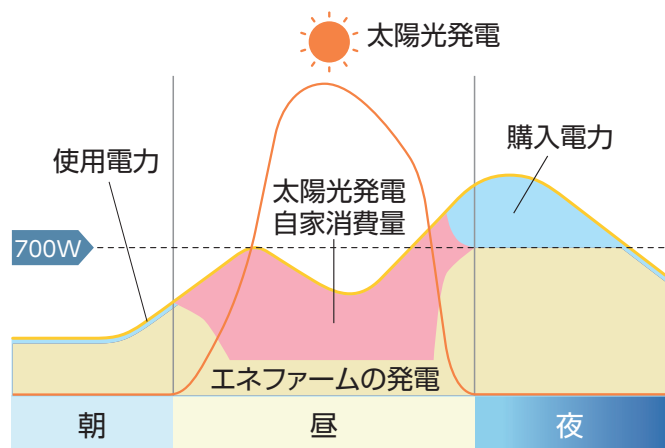
- 太陽光で発電した電力を優先的にご家庭内で消費します。
- 太陽光発電の発電電力が多いときは、発電ユニットの発電電力を抑えて運転します。(100W以下)

太陽光優先モード OFF



※運転イメージ例

太陽光優先モード ON



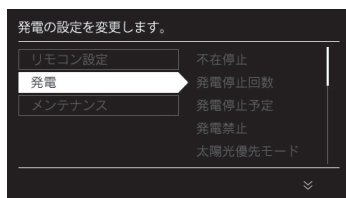
※運転イメージ例

太陽光優先モードを設定する場合

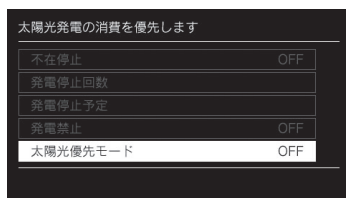
- 1 MENU スイッチを押します。



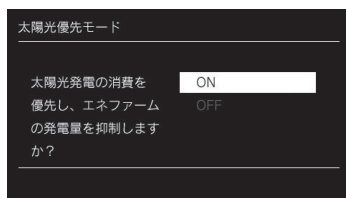
- 2 または で [発電] を選択し、
 または OK を押します。



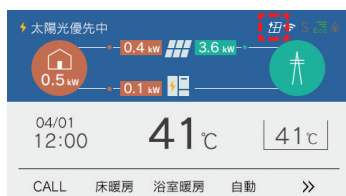
- 3 または で [太陽光優先モード] を選択し、
 または OK を押します。



- 4 を押し、[ON] を選択して
OK を押します。



- 5 トップ画面に太陽光優先モード設定中マーク が表示されます。

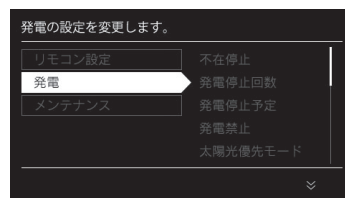


太陽光優先モードを設定しない場合

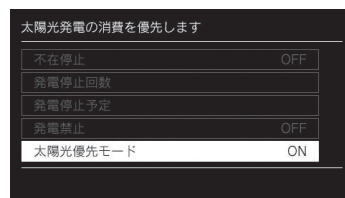
- 1 MENU スイッチを押します。



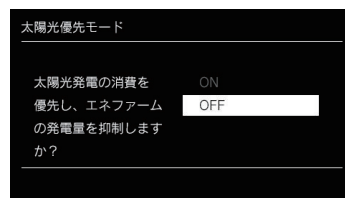
- 2 または で [発電] を選択し、
 または OK を押します。



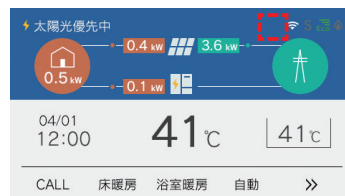
- 3 または で [太陽光優先モード] を選択し、
 または OK を押します。



- 4 を押し、[OFF] を選択して
OK を押します。



- 5 トップ画面に太陽光優先モード設定中マーク が消えます。



5 給湯について

1 お湯を使う・給湯温度を調節する



台所リモコン

表示	機能
自動	自動でお風呂にお湯を入れる(湯はりする)

(ON/OFF)スイッチ



浴室リモコン

表示	機能
自動	自動でお風呂にお湯を入れる(湯はりする)
おいたき	お風呂をおいたきする

(ON/OFF)スイッチ

リモコンの を押すと、黄緑ランプが点灯し、お湯が使えます。
再度、 を押すと、ランプが消えお湯は使えなくなります。

※給湯温度変更の優先権がないと、給湯温度の変更ができません。優先権の切り替え方法は右ページをご確認ください。

給湯栓やシャワーから出るお湯の温度を 32℃～ 60℃の範囲(17 段階)で調節できます。

台所リモコン・浴室リモコンの操作



優先
浴室リモコン

1 を [ON] にし、 が点灯していることを確認する

が点灯しているリモコンのみ優先となり、給湯温度を変更できます。
台所リモコン・浴室リモコンは、それぞれが優先になった場合の給湯温度を記憶しています。優先が切り替わると、優先になったリモコンが記憶していた温度が給湯温度になります。

※リモコンに が点灯していないときは、リモコンの取扱説明書(P.18)をご確認ください。

2 で、給湯温度を設定する

●スイッチを押すたびに…

: 温度が1段階上がります。

: 温度が1段階下がります。

●スイッチを押し続けると…

: 連続で温度が上がります。

: 連続で温度下がります。

●押し続けると、45℃以下では連続して変わります。

46℃以上に設定したいときは、1回ずつ押してください。

工場出荷時は 40℃に設定されています。

調節できる温度は32℃～ 60℃の17 段階です。1 回スイッチを押すごとに1 段階ずつ変わります。上図は41℃に設定した場合ですが、実際の温度は季節や配管の長さによって異なります。およその目安とお考えください。

2 優先スイッチの使いかた

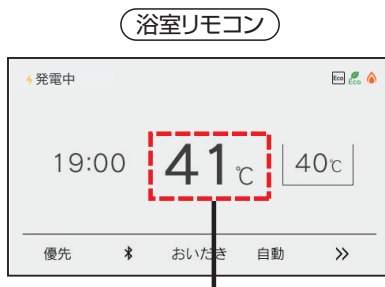
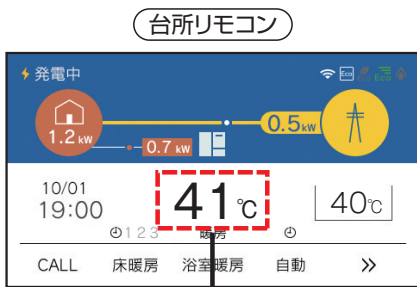
リモコンの優先権を変更します。

【優先権】について

台所、浴室、洗面所などにあるすべての給湯栓に対して、給湯器から同じ温度のお湯が供給されます。

どのリモコンにも同じ給湯温度が表示されます。そのため、お湯の使用中に他の人が給湯温度を変えると、お湯の温度が変わり、やけどをすることがあります。このような事故を防止するため、どちらか一方の権利のあるリモコンでしか温度を変えられないようになっており、この給湯温度を変更することができる権利を「優先権(優先)」といいます。

給湯温度設定のしくみ



浴室でお湯を使っていないことを確認してから、変更してください。

1 が点灯しているリモコンで、給湯温度を[40°C]→[41°C]に変更すると…

2 もう一方のリモコンの表示も[40°C]→[41°C]に変わります。

- を「ON」にした方のリモコンが最初に優先権を持ちます。優先権のないリモコンでは給湯温度は変更できません。
- 台所リモコンと浴室リモコンは、それぞれが優先権を持っていたときに設定した給湯温度を記憶しています。優先権が切り替わると、優先権を持ったリモコンが記憶していた温度が給湯温度になります。
- 給湯温度の変更以外は、どのリモコンでも優先権に関係なく他の設定を変更できます。

浴室リモコンの操作

を押す

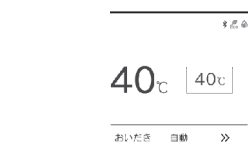
給湯温度を変更できる優先権を持つことができます。

を1回押すごとに、優先権が以下のように交互に切り替わります。

浴室リモコン ↔ 台所リモコン



点灯



点灯

台所リモコンで給湯温度の変更ができないときは、 を一度「OFF」にし、再度「ON」にして、リモコンに を点灯させます。

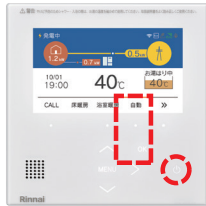
※ふる自動やおいだしなどが運転中の場合は、運転を停止します。停止させたくない場合は、浴室リモコンの を押して切り替えてください。



警告

やけど防止のため、シャワーの使用中は優先権を切り替えしないでください。

3 お風呂を沸かす・温度と湯量を調節する



台所リモコン



浴室リモコン

が「ON」(ランプ点灯)の状態、
 を押すと自動で設定したふる温度、
ふる水位でお風呂へのお湯はりを行います。

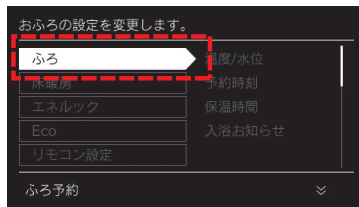
お風呂の温度変更や浴槽に湯はりする湯量の目安を設定できます。

が点灯していることを確認してください。点灯していない場合は、 を押してください。

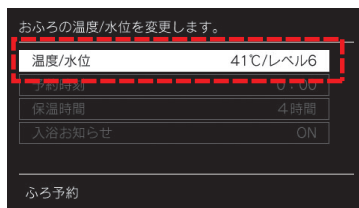
台所リモコン・浴室リモコンの操作

1 MENU

スイッチを
押します。

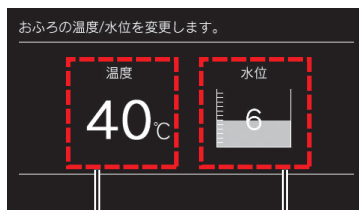


2 [ふる]で または を押します。



3 [温度 / 水位]で または を押します。

自動湯はり(オート)タイプの場合は
[温度/湯量]と表示されます。



ふる温度表示

水位表示

4 でお好みの温度や水位に変更し、 を押します。

●スイッチを押すたびに…

: 温度は1°Cずつ、水位は1目盛り上がります。

: 温度は1°Cずつ、水位は1目盛り下がります。

●押し続けると、45°C以下では連続して変わります。

46°C以上に設定したいときは、1回ずつ押してください。

を押さなくてもそのまま1分経過すると、
自動的に設定が完了します。

●発行

AISIN

株式会社 アイシン

エネルギー VC カンパニー E-VC 営業部

●ご用命は